



山口県本部版

NO 288

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

山口県本部

〒754-0004

山口市小郡金堀町

21番の1

林洋武方

電話&FAX

083 (972) 3987

“命を生み出す母親は生命を育て

生命を守ることを望みます”

第67回山口県母親大会 in 光・下松・周南

(写真は光市民ホールで開かれた山口県母親大会全大会
8月28日)

- ◆ 8月28日に開かれた山口県母親大会は約400名が参加・視聴。中村鈴枝副会長は、10月30日の分科会で「どうなるの？私たちの医療―医療制度について知ろう―」と題して講演します。
- ◆ 安倍元首相の「国葬」「県民葬」に反対する、総がかり行動やまぐちの県内一斉行動。山口市では9月16日17時半山口市民館前、27日12時15分中央公園バス停付近で取り組みます。
- ◆ 「慰安婦」問題とジェンダー平等ゼミナール(吉川春子代表)は9月23日小郡でオンラインによる学習会を開きます。
- ◆ 岩国市議選は10月16日告示23日投票で行われ共産党は現有3議席めざし奮闘します。
- ◆ 同盟県本部総会は10月8日(土)13時30分から小郡地域交流センターで開きます。
- ◆ 国賠署名は8月末現在112筆に達しました。
- ◆ 同盟山口県本部役員会の9月度は16日(金)13時30分から共産党県委員会で行います。

最後の4・16被告

田熊眞澄さんへ聞く

（その17）

田熊 と言われましたが、「かつてに前科を付けたのだからかつてに消すがよかろう」といつて行きませんでした。いつの間にか戸籍の前科は消えています。

昭和一八年、塩田村、岩田村、東荷村、三輪村の四ヶ村が合併して大和村に変わっていました。

戦後、民主化の流れの中で大和村で森安恒一君らと農民組合を八〇名くらい組織しました。税金問題もやりましたが、大和村ではやはり土地問題でした。

森安君は農地委員会の書記をやっています。いつかよく覚えていませんが山本利平さん（故人。戦前からの部落解放運動に参加。戦後共産党に参加。一九七一年以来日本共産党の県議三期）が来てくれてみんなと話し合ったことがあります。

農地委員を自作農代表でやりました。大和村では大地主が三人いました。坂本という三丘（みつお・現熊毛町）の小作料を五百俵とる地主、それに大和町の田熊文助これは県会議員や町長をやっていました。がやはり五百俵、それに光市の三井の大越が三〇〇俵の地主で、これらの大地主の土地問題は小作人に解放することで解決しました。しかし、ここらでは羽織組みという地元の小地主の土地問題は厄介なことが多くて苦労しました。

誠心誠意努力して、農業委員になつてからも会長も一期つとめました。

昭和二十二年の春、戦後初めての地方選挙では大和村会議員に立候補して当選しました。農民組合から出た仲間が私以外に二人いました。しかし、次の選挙までにプチブル化して墮落していました。村会議員のときに

はいろいろやりました。特に、今のJR岩田駅から北に伸びる

県道の幹線の土地問題が片付かないで道ができないままでした。私は代替地なども心配して地主を説得して幹線道路を完成させました。これは村会議員当時の私の実績のひとつです。当時の坂本康治村長はコチコチの保守で、私をひどく警戒していたのですが、その事ではたいへん感謝されました。その後、議長になった大井議員も暴力団出身な

どとかく噂がありました。私には一目も二目もおいて信頼してくれました。二回目の立候補した時には農民組合も弱くなつていて落選しました。

林 昭和二十六年ですね。戦後の反動攻勢が一番ひどかった時だと思います。

田熊 おふくろは昭和二十八年六七歳で死亡、親父も昭和三十六年に死にました。親父は寺の世

話をしていたので親父のあとを

継いで私がやることにしました。寺の総代を十五年ぐらいやりました。子どもが学校に行つているときには中学校のPTA会長もやりました。戦後も、田熊はアカだということが付きまといました。私は一度も共産党には入らなかつたのですがなにかという「アカだ」といわれてきました。しかし、百姓をやりながら若い頃の初心を忘れずにがんばってきました。

昭和三〇年半ばのこと、息子が下松工業高等学校を出てNHKの就職試験がありました。最後に残りましたが、父親がアカだという理由ではねられました。そのときは「息子にすまない」という気持ちと怒りでいっぱいでした。

市川正一碑の建設

つづく